

第2回 静岡市多文化共生協議会 議事録

1 会議の概要

- ・ 日時:令和7年10月16日(火)19:00~20:30
- ・ 場所:静岡市役所 静岡庁舎新館3階「茶木魚」
- ・ 出席者:委員12名
- ・ 主な議題:計画策定時から今日までの社会情勢の変化及び
それによって新たに生じた多文化共生に係る課題

2 会議の目的・進行

- ・ 「社会情勢の変化と、それによって生じる社会課題」について自由な意見交換を実施
- ・ 今回挙げた課題を次回以降の会議で深掘りし、計画見直しにつなげる方針

3 主な意見・議論ポイント

(1)外国人住民の多様化・情報伝達の課題

- ・ 非漢字圏出身者の増加、SNSによる情報収集の普及
- ・ 公共表示や情報発信が主要言語(英・中・韓)に偏り、ベトナム語等への対応不足
- ・ テレビや回覧板など従来の情報伝達手段が外国人住民に届きにくい

(2)地域社会の現状と課題

- ・ 行政の事業や計画が「誰に向けて」行われているか不明確
- ・ 地域ごとの住民構成やニーズの把握不足
- ・ 外国人住民の自治会・地域活動への参加促進が課題
- ・ ゴミ出しルールや生活マナーの伝達・定着が難しい

(3)労働・教育・社会構造の変化

- ・ 労働人口減少に伴う外国人労働者の増加と、それに伴う権利・人権問題
- ・ 日本語指導が必要な児童生徒の特別支援学級在籍率が静岡県で全国1位
- ・ 教育現場や保護者への情報提供・支援体制の強化が必要

(4)行政対応・サービスの課題

- ・ 行政窓口での外国人対応のバラつき、専門窓口の必要性
- ・ 年金や住民票手続きでの言語・書類対応の不備
- ・ 多言語対応や「やさしい日本語」だけでなく、現場での寄り添いが重要

(5)防災・情報発信

- ・ 災害時の多言語情報発信の限界と、外国人自身による情報取得の仕組みづくり
- ・ 防災用語や学区など、日本独自の概念の伝達が課題

(6)差別・社会的分断への懸念

- ・ 外国人への偏見や差別、報道の影響
- ・ 外国人住民の良い面が社会に伝わりにくい現状

(7)地域参画・共生の推進

- ・ 外国人住民が「参入→参加→参画」と段階的に地域社会に溶け込む仕組みづくり

- 地域に相談役や情報発信者を配置するアイデア(YouTube 活用等)
- 挨拶や存在感の示し方など、地域での関係構築の重要性

(8)ゴミ問題・生活ルール

- ゴミ分別や出し方の難しさ、一人暮らしや外国人特有の困難
- ゴミの量増加と税金負担の関係、自治会の役割

4 今後の方向性

- 次回以降、課題の深掘りと具体的な解決策の検討へ
- グループワークの実施

以上

議事録署名人

静岡市多文化共生協議会 会長 野田 敏郎